

朝日新聞研究

酒井信彦



△3△

学生運動との関係

2013年版の警察書には「極左暴力集団は組織の維持・拡大をもくろみ、暴力性・党派性を隠して大衆運動や労働運動に取り組んだ」とあり、反原発運動やオスプレイ配備反対運動への浸透を指摘している。

これらの背景はさておき、戦後は左翼運動がとても盛んであった。特に1960年代の後半、些細な問題から過激化して大学封鎖が行われ、社会的な大問題になってしまった。その頂点が68年だ。

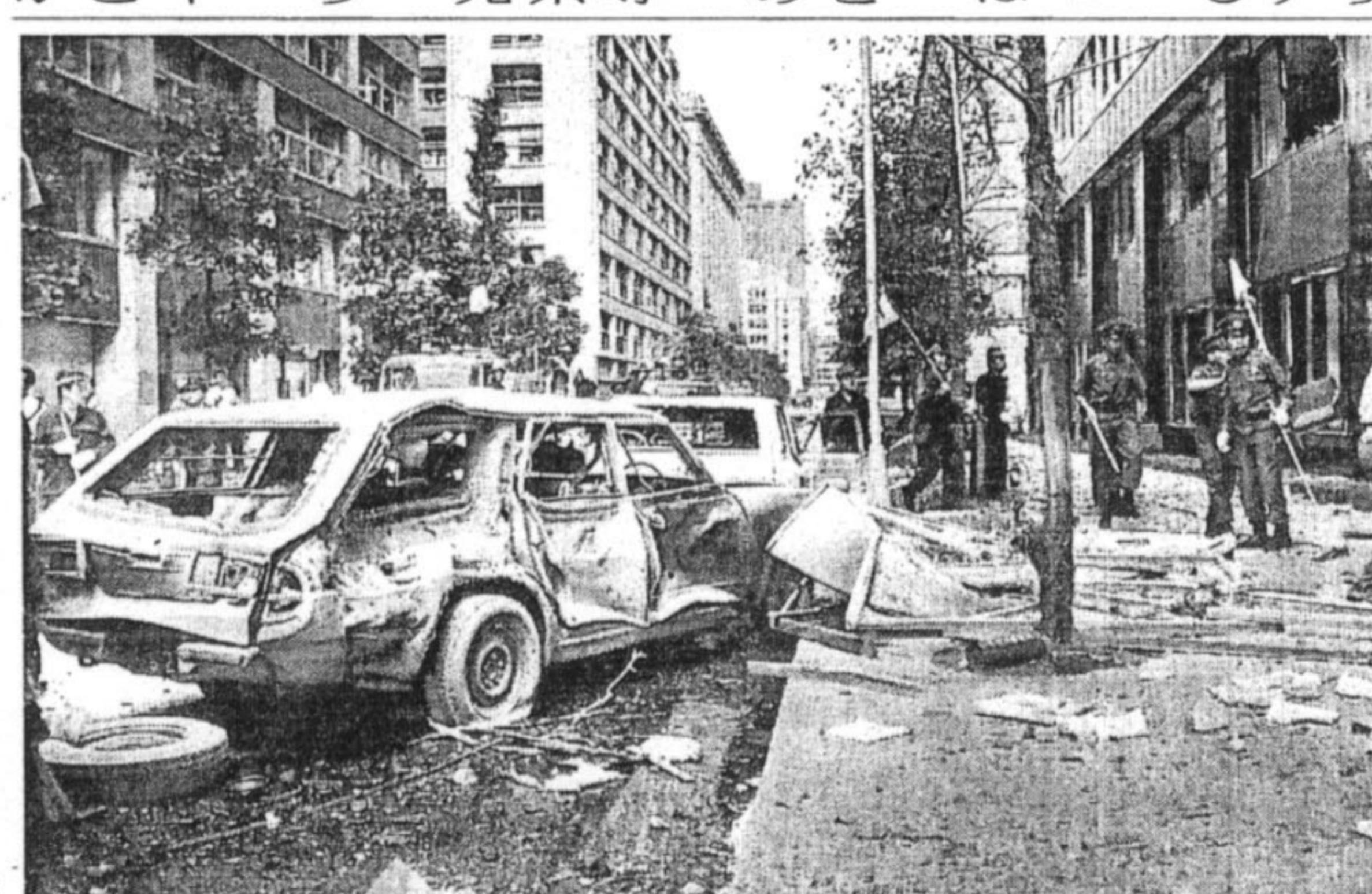
大学紛争が起き、次第にマスクは紛争学生に同情的だったが、朝日新聞は抜きんでていた。朝

全共闘の論客も紙面に登場『学生に同情的』

報道を検証した「新聞と月刊誌など」(日新報道)など、「昭和と昭和」(2010年6月、朝日新聞出版)には「朝日新聞社が発行する雑誌『朝日ジャーナル』は、全共闘の論客も紙面に登場させるなど、学生たちに同情的だった」(380ページ)と、はっきり記している。

全共闘とは大学封鎖を行った、強硬派の学生のことである。

大学紛争が警察力の導入で治まる、全共闘系学生の一部はますます先鋭化して、70年代には、暴力的なテロ活動を行うようになる。「過激派」と呼ばれた彼らは、ハイジャックや爆弾テロなどを凶行したが、そのなか



多くの死傷者を出した三菱重工爆破事件の現場=1974年8月

「朝日ジャーナル」の記者逮捕

事件当時の産経新聞記者、福井惇氏の著書『一月刊誌などでコラムを執筆する。著書に「脅迫に狂う朝日新聞」(日新報道)など。』は、朝日新聞が密接に関わったテロ事件が起きる。71年8月21日に起きた、朝霞自衛官殺害事件である。この記者は逮捕され、協力者として朝日ジャーナルの記者が逮捕された。この記者は逮捕され、協力者として朝日新聞を退社処分となるが、実は、さらに何人

逮捕された。後に学生3人が殺された。後に学生3人が殺された。

陸上自衛隊朝霞駐屯地で、歩哨任務中の一場面

で、朝日新聞が密接に関わったテロ事件が起きる。

朝日新聞が密接に関わったテロ事件が起きる。

朝日新聞が密接に関わったテロ事件が起きる。